

木下理事長様

平成27年度広報部会報告

平成27年12月8日

広報部長黒川正道

広報部会を開催しましたので、規定により報告いたします。

日時:平成27年12月5日18:30～

参加者:黒川、道越、長田、太田、山田、山本、堀、杉村、中越、計9人全員

1、HP 関係の状況情報共有

○3月1日～5月10日まで

- ・平成27年度Ver17.1UP(3月17日)
- ・93件の更新実施。(3/1～5/10:71日⇒平均でほぼ1日に1.3件更新)
- ・開設5000日目(3月10日＝累積320,700カウント:平均64カウント/日)

○5月11日～8月25日まで

- ・95件(会員専用8件含)の更新実施。(5/11～8/24:104日⇒平均でほぼ10日間に9件更新)他に事務局からの情報36件更新。
- ・7月1日:HP 開設15周年!342,500カウント(この5年間は平均99カウント/日)

○8月26日～11月16日まで

- ・111件(会員専用40件含)の更新実施。(8/24～11/23:91日⇒平均でほぼ1日に1.2件更新)他に事務局からの情報23件更新。

●通算すると299件(昨年1～12月:348件)の更新(299日間)一日1件の更新をしたことになる。(今年1～11月:323件)

- ・33万カウント(54日間で1万カウント＝185カウント/日:過去最高)(4月28日)
- ・34万カウント(50日間で1万カウント＝200カウント/日:過去最短)(6月17日)
- ・35万カウント(56日間で1万カウント＝179カウント/日)(8月12日)
- ・36万カウント(56日間で1万カウント＝179カウント/日)(10月7日)
- ・37万カウント(55日間で1万カウント＝181カウント/日)(12月1日)

○合計5万カウント(271日間)185カウント/日(昨年160カウント/日)

部員の活躍により、アクセス数も順調。冬場はアクセスが減るので年度末には170カウント/日程度になる見込み。引き続き、全国の弓連中で全国一の更新数とスピードは、高く評価でき、県連の活性化に貢献している。

全弓連の改革大綱にも、各協会のHP開設等が掲げられているが、新会長になり大きく動き始める可能性も高いので、先行して活動している我々は引き続き地道な活動を続けていく。

2、この間のHPの主な改善事項

- ・審査の会員専用ページ開設 4月18～19日実施の199回定期審査より運用(スケジュール・立順・弓道場見取り図・講評の掲載)・・・これにより審査前後、過去最高の1日200アクセス以上となった。
- ・弓道教歌チェック 5月11日～2月10日分までチェック完了。年度末には完了予定。
- ・和歌山国体の国体県勢活躍状況を、体制を組んで速報初実施(9月27日)⇒1日1目288、2日目328、3日目308、4日目273、計1197カウント(速報だけのアクセス数なのでますます、関心が高かった)
- ・加盟団体の紹介・会長のひとこと依頼中(6月末日途でお願いしていましたが、ほぼ皆無)
- ・常任理事メンバーの投稿記事を順調に毎月1人順次掲載中

3、今後の課題等議論した事項

○国体の県勢活躍状況の速報掲載活動

- ・稼働面で課題がある。準備期間も必要で、平日は、勤務のためほとんどの人が対応できない。
- ・期間限定で、市中の Facebook を用いて、リンクを張ったらどうか(常任理事会ではそれでは、アクセス数がカウントできないとの声もあった)
- ・ねんりんピックを石川県で開催した時に掲示板を一時期アップした(不正書き込みが多くなり中止)、これを会員専用ページにアップして、現地から書き込みをしてもらう。これには応援メッセージも書きこめるし、国体に限らずどんな大会でも、速報できる。
- ・もう少し、健闘することとする。

○70周年記念誌編纂のために、記事の収集・進捗管理するページを、会員専用ページ内に設ける方向で常任理事会で議論された件に関する事

- ・アップするページは項目が確定した時点で早期に黒川が作る。(メニューボタンはアップした)
- ・広報部と川瀬副会長と川端さんをメンバーにしたメーリングリストを作って投稿を受け付ける。
- ・投稿あったものは分担してアップする。(進捗状況の把握・催促は広報部としてはしない)
- ・トップページに、投稿等依頼事項を掲示したらどうか(70周年記念誌関係だけに限らず載せると効果的かも知れないので、次回常任理事会に諮る)
- ・投稿対象者のメーリングリストも作成した方が連絡するときに便利では(川瀬副会長と相談)

4、来年度の担当分担の意見交換

70周年記念誌の投稿記事アップが増要素です。案は、年度末までに長田がたたき台を作って調整する。

5、弓道石川 & 弓道誌

○弓道石川: 順調推移。

- ・経費節減対策としても、もっと真剣に弓道石川の発行部数を減らすべきだ。協会の保管・閲覧用と会員の誰と誰が欲しいと言っているのかまで厳密に調査して部数調査するくらいにすべきだ。
- ・各協会で、印刷して配布する手も考えられる。一部印刷すれば〇〇円支払いますとすればいい。それでも今より経費・稼働節減になるのではないか。
- ・従来は記念誌も弓道石川が貴重なデータベースだったが、今はHPが充実して、その役割はない。
- ・掲載記事も、大会結果など必要なのだろうか(大半のページ数を要している)
- ・来年度100号を迎えるが、そんな位置づけもあり、特に記念号的なことは考えていない。
- ・掲載内容にHPとの独自性もほぼなく、発展的廃刊も検討すべきか。
- ・広報部内では、議論はしても結論はでないので、常任理事会等の意見をきく。
- ・アンケートをする手もある。

○弓道誌投稿順調に推移。

- ・冬場の記事がなく苦戦。・そんな時に各協会の紹介記事を載せるのもいいかな。

6、部費

今年度より、経費削減のため部費はなくなった。経過等口頭説明。

7、実技編

- ・昨年も好評で、部員の中から昇段者も出ている、日程調整して、第4四半期に実施する。

8、その他

- ・広報部長の進退について、理事長から報告を求められ、「いつでも退任します、後任含めお任せします。」と報告してある。引き続きやることになれば、来年度はメンバーの入替等もなくこのままでいくことを確認。・・・入部希望者が出てくれば、ウェルカム。(そういう広報部でありたい)